

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 2025年 書協理事長あいさつ       | 1 |
| SARTRAS共通目的事業・助成事業 募集 | 2 |
| IPA大会グアダハラ大会速報        | 2 |
| 出版統計                  | 3 |

## 社会が出版界に求めるもの

一般社団法人 日本書籍出版協会  
理事長 小野寺 優



明けましておめでとうございます。

旧年中は出版業界ならびに当協会の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。

昨年、経済産業省が「書店振興プロジェクト」を発足させ、「書店活性化のための課題(案)」を公表、意見募集が行われ、多くのコメントが寄せられました。また、昨年11月に閣議決定された「総合経済対策」には「2025年春までに、書店活性化プラン(仮)をとりまとめる」などと記載されています。ここ数年、業界を挙げて出版界の窮状と対策を訴えてきたことの一定の成果だと思います。

とはいえ、国に頼るばかりではられません。では今社会は出版界に何を求めているのでしょうか。

現在、社会にはSNSなどを通じて溢れんばかりの情報が横行しています。その中には匿名性の高い、真偽のほども定かでない情報も多く含まれています。昨年のアメリカ大統領選や自民党総裁選、兵庫県知事選などを見てもその影響力を痛感せずにはられません。オーストラリアでは16歳未満のSNS利用を禁止する法案が可決され、大きな話題になりました。これには賛否両論あるようですが、「顔の見えない人たちの発する、無責任な」情報によって社会が左右されることには、やはり大きな危機感を覚えますし、それによって若い人たちが自ら考え、判断する力を十分に養えず、偏った方向に導かれる危険性は否定できません。

そんな時代にあって、今後人々は、作る人、売る人の顔の見える「責任ある情報」「信頼できる情報」を求めるのではないのでしょうか。そうなった時、著者と出版社が自らの責任の下に送り出すコンテンツの価値、書店が意志を持って仕入れ、薦める出版物への期待と信頼は高まっていくのではないのでしょうか。私たち出版界は、これまで以上にそれを自覚して本を作り、その価値を自信を持ってアピールすべきだと思います。そしてその先に、今の社会が求める出版界の新たな姿が見えてくるような気がいたします。

その他、当協会が今年度取り組むべき課題は枚挙に暇がありません。

図書館等公衆送信補償金制度管理協会(SARLIB)が、今年1月から特定図書館の登録と利用報告提出受付を開始します。権利者の対価還元と、利用者の利便性確保という二点のバランスが取れた制度運用を進める必要があります。

読書バリアフリー法への対応については、日本出版インフラセンターと共同で立ち上げたアクセシブル・ブックス・サポートセンター(ABSC)に、TTS(自動音声読み上げ)推進WGに加えて、学術・専門書に特化したワーキンググループを設置します。

書店イベントを読者に発信する「ブックイベントナビ」はオープンから一周年を迎えました。今後、書店と図書館との連携事例紹介など、さらに内容を充実させ、ユーザーにとって魅力のあるサイトに育てたいと思います。

本年も豊かな出版界の実現に向け、取り組んで参ります。皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

## SARTRAS共通目的事業・助成事業 第3次募集開始

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）は2025年度共通目的事業・助成事業の第3次募集を開始した。

「著作権及び著作隣接権の保護に関する事業」または「著作物の創作の振興及び普及に資する事業」に該当する事業であれば、本制度の助成対象となる。助成のポイントは以下の通り。

- ①助成金額は原則として事業総額の50%以内が目安。
- ②1事業者の1事業年度当たりの助成申請額は、原則として合計5,000万円以内（前年度に助成決定した金額も含める）。
- ③一事業年度当たりの申請件数は原則として3件以内。
- ④2025年4月1日以降に事業が行われ2026年3月31日までに完了する事業であること。

### 【共通目的事業・助成事業とは】

共通目的事業は、授業目的公衆送信補償金制度の指定管理団体であるSARTRASによって諮られて助成が決定されるもの。收受した補償金を授業で利用された著作物の権利者に分配されるべきものだが、授業における著作物の利用をすべて把握することは困難であること等の理由から、権利者全体の利益となる共通目的事業を実施することが著作権法により義務付けられている。そのため上記のような「著作権保護」または「著作物普及」に関する事業であれば、共通目的事業として認定され助成を受ける要件を満たすこととなる。

### 【申請方法】

申請方法は、昨年度から変更となり、SARTRASウェブサイトからのオンライン申請となり、「共通目的事業事務手続きマニュアル」に従い申請する。

### 【受付期間】

第3回：1月6日(月) 10時～1月22日(水) 17時まで  
(第1～2回はすでに募集終了)

詳細・申込先：<https://sartras.or.jp/kyotsumokuteki/>

2024年度助成事業一覧（ご参考）：

[https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/kyotsumokuteki\\_joseichiran20240930.pdf](https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/kyotsumokuteki_joseichiran20240930.pdf)

(詳細問合せ SARTRAS TEL 03-6381-5026)

## IPA大会グアダハラ大会 速報

第34回IPA大会は、2024年12月4日・5日にメキシコのグアダハラで開催された。21か国から約160人が参加し、「著作権の保護の促進」と「出版の自由」がフォーカスされ、22のセッションが行われた。

### 『著作権』

生成AIに関する懸念点と利用促進の利点のとバランスについて様々な報告がされた。EUでは2024年にAI規制法を制定（2025年より運用）。新技術の適切な活用と著作物の円滑な利用に向けた対応をとるとされた。一方、米国では厳格な規制法はなく、個別の訴訟対応を通じてルール形成の分析が重要との報告があった。また、AI生成情報の安全性や人権への影響も指摘され、特に薬事情報の誤用が命に関わる問題として挙げられた。AIの利点の認識も示されつつも、ユーザーの安全性・人権・安全保障への懸念・著作権者への利益還元は必須であることが共通認識として挙げられ、各国が連携し情報共有を行う必要性が確認された。

### 『出版の自由』

世界における権威主義的政権への懸念が強く示された結果、政治批判に関する言論抑圧等の言論の自由を脅かしていると報告があった。今後強化すべきテーマとして、意図的に作成・拡散される誤情報（Misinformation）、偽情報（Disinformation）による言論機関への弾圧や批判への対抗策や、多様な情報の流通が制限されることによる権威主義的な政権基盤が醸成される危険性が挙げられ、言論・表現の自由の確保のためには、著作権との関係性がより重要になっていくことを認識し、課題解決に向けた対応をとることが求められた。

最終日には、テクノロジーは出版界にとってもツールとして有効であるが、著作権侵害、創作者への還元の欠如については毅然とした対応を行うことが述べられたほか、イノベーション、信頼関係、民主主義が今後の出版の自由に不可欠であり、今後取り組むべき柱は、著作権の保護の強化、出版の自由の促進、健全な環境・社会を形成するために必要なサステナビリティへの取り組み、幅広い読者へ情報・読書へのアクセスを出版社の役割として確保すること等が掲げられ、次回2026年の開催地マレーシアに大会のバトンが渡された。

## 出版統計

| 書籍         | 11月期    | 前年同月比  | 1～11月期   | 前年同期比 | 書籍出回り         | 11月期    | 前年同期比   | 1～11月期   | 前年同期比    |          |        |
|------------|---------|--------|----------|-------|---------------|---------|---------|----------|----------|----------|--------|
| 新刊点数       | 5,372点  | 2.0    | 59,823点  | 0.6   | 推定出回数         | 5,543万冊 | ▲ 5.3   | 63,063万冊 | ▲ 5.9    |          |        |
| 新刊推定発行部数   | 2,071万冊 | ▲ 6.2  | 21,814万冊 | ▲ 7.1 | 推定出回金額        | 718億円   | ▲ 3.9   | 8,240億円  | ▲ 4.5    |          |        |
| 新刊平均価格     | 1,351円  | 5.2    | 1,329円   | 1.5   | 推定出回平均価格      | 1,296円  | 1.4     | 1,307円   | 1.6      |          |        |
| 新刊推定発行金額   | 280億円   | ▲ 1.2  | 2,899億円  | ▲ 5.7 | <b>実売部数</b>   | 11月期    | 前年同期比   | 1～11月期   | 前年同期比    |          |        |
| <b>月刊誌</b> | 11月期    | 前年同月比  | 1～11月期   | 前年同期比 | 書             | 籍       | 3,675万冊 | ▲ 2.9    | 40,305万冊 | ▲ 5.5    |        |
| 発行銘柄数      | 1,637点  | ▲ 5.4  | 2,255点   | ▲ 1.9 | 月             | 刊       | 誌       | 3,493万冊  | ▲ 15.6   | 40,545万冊 | ▲ 11.6 |
| 推定発行部数     | 6,065万冊 | ▲ 13.0 | 70,739万冊 | ▲ 9.5 | 週             | 刊       | 誌       | 1,139万冊  | ▲ 18.1   | 13,245万冊 | ▲ 14.0 |
| 平均価格       | 805円    | 5.6    | 776円     | 4.7   | <b>実売金額</b>   | 11月期    | 前年同期比   | 1～11月期   | 前年同期比    |          |        |
| 推定発行金額     | 488億円   | ▲ 8.1  | 5,493億円  | ▲ 5.2 | 書             | 籍       | 485億円   | ▲ 1.7    | 5,471億円  | ▲ 4.2    |        |
| <b>週刊誌</b> | 11月期    | 前年同月比  | 1～11月期   | 前年同期比 | 月             | 刊       | 誌       | 280億円    | ▲ 10.8   | 3,125億円  | ▲ 7.4  |
| 発行銘柄数      | 67点     | ▲ 5.6  | 77点      | ▲ 3.7 | 週             | 刊       | 誌       | 52億円     | ▲ 12.2   | 577億円    | ▲ 9.7  |
| 推定発行部数     | 2,207万冊 | ▲ 14.0 | 25,438万冊 | ▲ 9.8 | <b>実売金額合計</b> | 816億円   | ▲ 5.7   | 9,172億円  | ▲ 5.7    |          |        |
| 平均価格       | 468円    | 7.3    | 450円     | 5.4   |               |         |         |          |          |          |        |
| 推定発行金額     | 103億円   | ▲ 8.3  | 1,14億円   | ▲ 5.0 |               |         |         |          |          |          |        |

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[ 提供 出版科学研究所 (Tel.03-3269-1379) ]

## EVENT INFORMATION

印刷博物館「世界のブックデザイン2023-24」関連トークイベント（オンライン+オフライン併用）

「第57回造本装幀コンクール受賞者〈受賞作〉を語る」

日時：2025年2月1日（土）15:00～16:00

定員：会場30名／オンライン配信300名

参加費：無料、先着順、事前申込制

内容：第57回造本装幀コンクールの受賞者町口覚氏（造本家／パブリッシャー）、川口翼氏（フォトグラファー）が経済産業大臣賞受賞の写真集『心臓』を語る

詳細・申込先：<https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/g20241214.php>

（問合せ 印刷博物館 Tel. 03-5840-2300）

### 編集後記

明けましておめでとうございます。今年の干支は「巳」。脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味すると言われていたそうです。まさに出版界にとっても「復活と再生」の一年となりますようお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。（あ）



一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL : 03-6273-7061

FAX : 03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>